



広告は Google により終了しました

問題がある広告として報告 広告表示設定

2019
6月13日 (木)

東京都(東京)
27°C / -C
降水確率: 0%

時事ドットコムニュース > 社会 > 世論の反応「うれしい」 = 令和揮毫の茂住氏

Twitter Facebook B! コメント

小 中 大

記事/キーワード 検索 オフィス版

広告は Google により終了しました

問題がある広告として報告

広告表示設定

世論の反応「うれしい」 = 令和揮毫の茂住氏

2019年05月18日13時01分

オフィス環境から働き方改革を - NTTファシリティーズ
コミュニケーション量をIoTで見える化、ワーカーの生産性向上を実現。 ntt-f.co.jp

開く

新元号「令和」の記者発表の際に掲げられた墨書を揮毫（きごう）したのは書道家の茂住修身氏（63）＝雅号・菁邨＝。新任閣僚の認証式で手渡される官記（辞令）を手掛けるなどしてきた内閣府の「辞令専門職」だ。新元号への世論の反応はおおむね好意的。大役を果たし、「国民に受け入れられているようで、うれしい」と振り返る。



【特集】平成から「令和」へ

「墨は何十年の時を経ても色あせない」。元号が発表された4月1日の前夜、自宅で5時間かけて墨をすった。

数週間前までは、自身が筆を執るかどうかさえ分からなかったが、「誰が書くことになっても、良いものを使ってもらいたい」と、和紙の一種「奉書紙」の中から特に書きやすいものを探した。さらに、墨の乾きによるヨレを防ぐため、2枚の紙を貼り合わせ、厚みを持たせる工夫を凝らした。

揮毫当日、特別な筆も用意したが、いざ書いてみると使い慣れた「いつもの筆」がしっくりきた。「女性が『同じメイクはできない』と話すように、私も、同じ文字は二度と書けない」

「令」の字の最後の一画を真っすぐ下ろす活字体を選んだのは、誰にでも分かりやすいように書いてほしいとの要請があったためだ。いつも書き終えた後は、「もっと上手に書けるのではないかな。書き直したい」との思いに駆られる。「令和」に対しても、額に収めた直後から同じ気持ちがわき上がってきたという。

【社会記事一覧へ】 【アクセスランキング】

この記事にコメントする [利用規約を遵守の上、ご投稿ください。](#)

コメントを入力する(最大500文字)

【不適切なコメントを見つけたら通報ください】 【URLの貼り付けは禁止です】

0/500

名前(任意30文字以内)

コメントを送信

全てのコメントを見る

フォーカス

- 韓国高官と面会
- 池袋事故で実況見分
- パンクシーの作品
- 六本木の米陸軍基地
- 初登板勝利 吉田輝星
- 勝利の女神 始球式
- 密輸サルは新種?
- 佳子さま 贈賞式に
- 大谷、前田から一発
- フェラーリ初のPHV
- 2歳になりました
- F35事故 再現・検証